

## 知床五湖地区における取組の進捗状況

## トピック

1. ヒグマ活動期（5月10日から7月31日）において、全期間の2ルート併用が開始された。
2. ヒグマ活動期中のヒグマ遭遇回数は例年に比べ多く、遭遇回数は44回（うちツアー中止判断13回）（前年15回（うちツアー中止判断3回）、平成24年59回（うちツアー中止判断39回））であり、期間中の地上遊歩道の立入者数は13,800名（前年比17%増）であった。
3. 植生保護期（8月1日から10月20日）におけるヒグマ出没回数は例年に比べ多く、遭遇回数は24回（前年7回）であり、期間中の地上遊歩道の立入者数は53,643名（前年比2%増）であった。

## 1. 知床五湖利用調整地区制度の運用

- ・平成27年4月20日から10月20日において、知床五湖利用調整地区制度を運用した。
- ・植生保護期（開園日4/20～5/9）における地上遊歩道の立入者数は4,211名（前年比124%増、前々年比2334%増）であった。世界遺産登録10周年による効果が考えられる。
- ・ヒグマ活動期における地上遊歩道の立入者数は登録引率者を含め13,800名（前年比17%増、前々年比34%増）であった。平成26年度からの利用者の増枠や2ルート併用に加えて、制度の定着や窓口業務の円滑化により、利用者の受け皿を広げるとともに、利用ニーズの適切なマッチングを行うことができ、適切な範囲での利用者の増加につながり制度開始初年度（平成23年度）の2倍に達した。世界遺産登録10周年による効果もあったと考えられる。
- ・植生保護期（8/1～10/20）における地上遊歩道の立入者数は53,643名（前年比2%増減、前々年比9%減）であった。
- ・ヒグマ活動期、植生保護期合計の地上遊歩道立入者数は71,654名（前年比8%増、前々年比3%増）で、制度導入後初めて7万人を突破した。知床五湖園地はおおよそ40万人が訪れていることから、来園者の6～7人に1人が利用調整期間中の地上遊歩道に立ち入っていることとなる。
- ・制度期間中のヒグマ遭遇は、ヒグマ活動期に44回（前年15回、うちツアー中止判断13回（前年3回））、植生保護期（4～5月及び8～10月）に29回（前年7回）あり、ヒグマ起因による地上遊歩道の終日閉鎖日は0日間（前年度0日間）であった。期間中のヒグマ遭遇件数は73回と過去2番目に多く（平成24年が91回）、7月ピークの傾向は過去と共通しているが、8月に遭遇が減り9月に増加した点が特徴的だった。危険な遭遇事案は発生しなかった。
- ・ヒグマ活動期において、本格的な2ルート併用を開始した。平成26年は6・7月のみの実施であったが、平成27年は全期間において1日4回の小ループツアー（9:00、11:00、13:30、16:00）を運用し、大きな混乱や支障は生じなかった。期間中の小ループ立入者数は1,565名

(登録引率者除く、前年比 31%増) で、地上遊歩道立入者数全体の 13%を占めた。

## 2. 知床五湖の利用のあり方協議会、登録引率者審査部会の開催状況

▽第 23 回審査部会：平成 27 年 11 月 10 日

以下の議題について、情報共有・検討を行った。

- ・平成27年度利用調整地区制度の運用結果について
- ・平成27年度登録引率者研修及び登録試験結果について
- ・利用適正化計画の点検と今後の検討予定について

▽第 24 回審査部会：平成 28 年 2 月 1 日

以下の議題について、情報共有・検討を行った。

- ・利用適正化計画（第 2 期）の点検について
- ・平成28年度のヒグマ活動期の運用法について
- ・平成28年度の登録引率者新規養成について
- ・平成28年度の既存の登録引率者研修について
- ・知床五湖登録引率者審査部会の平成27年度会計報告について

●第34回知床五湖の利用のあり方協議会：平成28年 3 月 8 日（開催予定）

## 3. 知床五湖登録引率者に係る事項

- ・平成 27 年 10 月 29 日に登録引率者試験（筆記試験）を実施し、35 名が受験して全員合格であった。その後、11 月 5 日に実地試験を実施し（免除者を除く）、7 名中 6 名が合格であった。平成 27 年度試験の最終的な合否結果は、35 名中 34 名が合格となった（前年度 31 名）。

## 4. その他の事項

<駐車場の拡張>

- ・平成 26 年度より実施した駐車場拡張工事が完了し、駐車台数が 31 台増加した。
- ・駐車場手前で 100m 以上渋滞が伸びていた時間は、前回調査時（平成 24 年）の 93 時間に対し、平成 27 年は 69 時間と大幅に減少した（7 月から 10 月 10 日までの期間中）。